

## パブリック・コメント募集結果

「白井市第2次行政経営指針（素案）」について、市民の皆様からご意見を募集しました結果、寄せられたご意見の概要とこれに対する市の考え方は、下記のとおりです。

案 件	白井市第2次行政経営指針（素案）について		
募集期間	令和7年6月20日（金）～ 7月10日（木） 21日間		
意見の件数 （意見提出者数）	11件 （1人）		
意見の取扱い	修 正	素案を修正するもの	8件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	0件
	参 考	素案には反映できないが今後の参考とするもの	0件
	その他	素案には反映できないが意見として伺ったもの	3件

問合せ  
白井市総務部総務課行政係  
047-492-1111（内線 3316）

No.	該当箇所	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	なし	<p>総合計画、行政経営、こどもプラン、長期改修計画など様々な中長期計画があります。</p> <p>それぞれがどのような関係にあるのか、示す必要があるのではないのでしょうか。中長期計画の最上位にあるのが総合計画で、それを構成しているのが行政経営やこどもプランなどだと理解しているのですが、それでよろしいのでしょうか。</p>	<p><b>【その他】</b></p> <p>白井市の計画は、総合計画のほか、各分野の大きな方針を示した基幹計画と、基幹計画に基づく具体的な取組を定めた個別計画があります。</p> <p>市では、総合計画を最上位の計画とし、これらの計画を体系化しています。</p> <p>なお、体系図（「分野別個別計画の体系図」）については、第5次総合計画から引き続き、第6次総合計画において記載すべき内容と考えているため、本指針においては記載しておりません。</p>
2	P7	<p>コメントの追加</p> <p>②徴収率の推移</p> <p>令和3年まで92%でしたが、令和4年、5年は94%と高くなっています。原因は何か説明した方が良くないのでしょうか。</p>	<p><b>【修正】</b></p> <p>ご意見を踏まえ、要因の説明と併せて、次のように修正します。</p> <p>（修正前） 「平成26年度（91.5%）と令和5年度（94.9%）を比較すると、上昇していますが、」</p> <p>（修正後） 「令和4年度から預貯金などの換価性の高い債権の差押えを強化したことなどにより、上昇傾向にあります。」</p>
3	P9	<p>文言の変更について検討方宜しくお願ひします。</p> <p>④ 経常収支比率</p> <p>「経常一般財源が増加傾向にあり3年連続で80%となっています。」</p> <p>変更案</p> <p>「経常一般財源が増加傾向にあり3年連続で80%台と経常収支比率が改善されました。令和3年度は〇〇などにより経常収支比率が大幅に改善されました。」</p>	<p><b>【修正】</b></p> <p>ご意見を踏まえ、次のように修正します。</p> <p>（修正前） 「3年連続で80%台になっています。」</p> <p>（修正後） 「3年連続で80%台に改善されました。」</p>
4	P10	<p>コメントの追加</p> <p>⑤財政調整基金残高・実質単年度収支の推移</p> <p>平成27年度の6.91億の繰り入れ、令和5年度の4.09億円の支出の説明</p>	<p><b>【修正】</b></p> <p>ご意見を踏まえ、説明文を次のように修正します。</p> <p>（修正前）</p>

			<p>「過去 10 年の実質単年度収支は、平成 30 年度からほぼ毎年度マイナス収支となっています。」  (修正後)  「実質単年度収支は、平成 27 年度は消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の増などにより、6.91 億円の黒字でしたが、平成 30 年度からほぼ毎年度マイナス収支となっており、令和 5 年度は扶助費や介護保険特別会計などへの繰出金の増などにより、過去 10 年で最大の 4.09 億円の赤字となりました。」</p>
5	P14	<p>グラフの検討  (5) 職員  図 2 職員年代別構成比  構成比を表す場合、一般的には円グラフで表されますが、この場合は棒グラフの方が直感的に分かる気がします。  棒グラフか、棒グラフとの併用を検討願います。</p>	<p><b>【修正】</b>  ご意見を踏まえ、円グラフから棒グラフに修正します。</p>
6	P15	<p>文言の変更について検討方宜しくお願います。  「令和 3 年度から 3 年連続で 90%以下となりました。」  変更案  「令和 3 年度から 3 年連続で 90%以下となり改善されました。」</p>	<p><b>【修正】</b>  ご意見を踏まえ、変更案のとおり修正します。  (修正前)  「令和 3 年度から 3 年連続で 90%以下となりました。」  (修正後)  「令和 3 年度から 3 年連続で目標である 90%以下となり、改善されました。」</p>
7	P16 P19	<p>財政調整基金について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基金の積み増しを行う場合、資金はどこから繰り入れますか？積み増し時のルールについての説明があると理解が深まると思います。</li> <li>2. 基金からの支出についてのルール、説明もがあると親切だと思います。</li> </ol>	<p><b>【修正】</b>  ご意見を踏まえ、P10 「⑤財政調整基金残高と実質単年度収支の推移」に、白井市における財政調整基金の積立てと取崩しの考え方を、次のとおり追記します。  「≪白井市における財政調整基金への積立て・取崩しの考え方≫  地方財政法第 7 条では、各会計年度において決算剰余金が生じた場合は、剰余金の 1/2 以上の額を翌々年度までに積み立てるか、又は、償還期限を繰り上げて行う地方債の償還の財源に充てなければならないこ</p>

			とが定められており、白井市の場合、剰余金の1/2以上の額を翌年度に財政調整基金に積み立てています。 また、各年度の予算編成において必要な財源が不足する場合は、第1次指針の数値目標である20億円以上の基金残高を維持することを念頭に、取崩しを行ってきました。」
8	P17	<p>文言の変更について検討方宜しく願います。</p> <p>地方債残高、将来負担率 3行目 「一部事務組合が行った事業による地方債など」 7行目 「一部事務組合における大規模事業実施」</p> <p>変更例 「印西地区環境衛生事業組合による新クリーンセンター建設実施に伴い」 などと具体的に説明するか、コメントを追加する。</p>	<p><b>【修正】</b> ご意見を踏まえ、7行目に記載の「一部事務組合における大規模事業」の補足として、次のとおり追記します。</p> <p>「※印西地区環境整備事業組合における次期中間処理施設整備事業」</p>
9	P22	<p>平易な文章にしてほしい。</p> <p>1. 市民参加・協働の充実 原文 ④市民参加に資源提供という側面を加えながら、寄付や投資を通じた地域支援を拓くなど、市民が市民を支えていく資源循環のあり方を模索します。</p> <p>質問1 資源は、お金の他にどんなものを想定していますか？ 質問2 投資とありますが、どんな事業を想定していますか。 また、その利益はどのようなことに活用されますか？ 質問3 「市民が市民を支えていく資源循環」の具体的な例は？ 質問4 資源提供とか、資源循環という言葉はどうし</p>	<p><b>【修正】</b> ご意見のあった箇所は、具体的な取組項目として、市民活動団体が公益的活動を行う上での活動資金を、市民の寄付により支えていく制度を主に想定したものとなります。</p> <p>ご意見を踏まえ、市民のみなさまにもわかりやすい表現とするため、次のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 「④ 市民参加に資源提供という側面を加えながら、寄付や投資を通じた地域支援を拓くなど、市民が市民を支えていく資源循環のあり方を模索します。」</p> <p>(修正後) 「④ 市民参加の一環として、公益的な市民活動への寄付制度など、市民が市民を支える仕組みづくりを模索します。」</p>

		<p>でも使わなければいけませんか？ 質問5</p> <p>以下の例文では不都合がありますか？      ≪例文1≫      「市民からの寄付などにより、地域支援活動をさらに充実させる仕組みづくりを模索します。」      ≪例文2≫      「地域支援活動をさらに充実させるため、市民から寄付などを積極的に行って頂く仕組みづくりを模索します。」</p>	
10	P23	<p>3. 情報共有の徹底と可視化</p> <p>市は、最小限の情報も公開していないと感じています。</p> <p>(1) 委員会の審議に提出される資料      委員会の審議に必要なデータが提出されていないため、適切な審査ができない状況です。</p> <p>① 例えば、工事請負契約の委員会審議用に提出されている工事調書には、契約額と工事理由・項目のみの記載となっています。      これでは、情報・データ不足で判断できないため、委員が質問し口頭で答えることで、情報不足を補っている場面が散見されます。工事の工程ごとの規模がわかる数量、予算内訳など審議に必要なデータは、工事調書に記載すべきです。</p> <p>② 予算審議に当たっては、新規事業ぐらいは、事業企画書を提出すべきです。      事業の規模、スケジュール、主な予算の内訳、根拠などが審議、判断に必要です。</p> <p>③ 公共施設利用料改定に伴う原価計算      今年度利用料の改定があり、約50%の値上げがありました。      この際、原価計算方法を変え、人件費を面積案分にしたため、レクホールの原価は、約1000円高くなりました。      計算方法を変えたのですからそれを明らかにすべきです。</p> <p>(2) 中学校部活が地域展開となりましたが、</p>	<p><b>【その他】</b>      具体的な事業等に関するご意見であり、本指針の素案には反映できませんが、担当課に共有の上、今後の事務の参考とさせていただきます。</p>

		<p>活動日は関係者以外公表できないとしています。</p> <p>このため、スポーツ塾の活動に支障をきたしています。</p> <p>活動日も公表しない方針に、違和感をもっています。</p> <p>住民がお金を出し合い、市民生活に必要な事業、サービスを市にお願いしているのですから積極的に情報を公開し、お互い知恵を出し合い、よりよい社会を作っていくべきでは、ないでしょうか。</p>	
11	P25	<p>2. 歳出の抑制と財源の最適配分</p> <p>(1) 巨額の無駄な支出をなくすべき</p> <p>歳出の抑制と財源の最適配分は、この指針の最重要課題です。</p> <p>しかし、現状を鑑みると収入増に対しては、涙ぐましい努力をしている一方で、歳出については常識では考えられないような無駄な支出をしています。</p> <p>例えば、新クリーンセンター建設に伴う入札では、30億円も高い業者が落札しています。あるいは、小学校の改修工事において業者の現場調査不足があったとの理由で、3,600万円の追加契約（その他を含め5,300万円）を行っています。</p> <p>(2) 各分野の高額な工事の優先順位を決める総合調整が重要</p> <p>今後は、学校、公民館、道路、水道、下水道など多くの改修工事が行われるはずですが、これら全分野を対象に工事の優先順位を決めることが重要になると思います。</p> <p>この調整を行う組織なりチームが必要ではないでしょうか。</p> <p>優先順位を決めるにあたっては、明石市の考えややり方が参考になるはずで、是非検討して下さい。</p> <p>(3) 入札に当たって</p> <p>桜台小中学校の入札は、20者を指名した指名競争入札で行われました。</p> <p>しかし、応札したのは池の上小の改修工事を担当した業者1者だけでしたが落札を決めました。予定価格に対する落札率は99.37%。</p>	<p><b>【その他】</b></p> <p>具体的な事業等に関するご意見であり、本指針の素案には反映できませんが、担当課に共有の上、今後の事務の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、市全体の公共施設等の管理に係る総合調整を行う組織としては、「公共施設マネジメント課」をすでに設置しております。</p>

	<p>指名競争入札で応札者1者だけなら何故そうなったのか検討し、再入札にすべきです。</p> <p>予定価格が12億ですから複数の業者が入札すれば、最低価格に近づきます。仮に落札率が89%なら1億以上も安く契約できます。</p> <p>入札を担当している財政課には、一般競争入札か複数の業者が応札しやすい指名競争入札条件をしっかりと検討してもらいたいものです。</p>	
--	--	--